

Augusta Yetunde Olaore

ソーシャルワーク教育と実践のリーダー的存在であるオーガスタ・エツンデ・オラオレ博士（Ph.D および MSW（福祉事業修士））は、ナイジェリアのバブコック大学の学生サポートセンターの最初のディレクターであり、社会事業・福祉学部の学部長でもあります。



オーガスタ氏はナイジェリアのヨルバ地方で出生した世界的に著名な医者、そして教育者です。ナイジェリアで大学を卒業し、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）で MSW（ソーシャルワーク修士号）を取得し、サウスアフリカ大学で Ph. D（博士号）を取得しました。バブコック大学で、ナイジェリア国内で正式に認可された社会事業学部を創設し、ナイジェリアの学部生および大学院生のための社会事業教育の最低基準の公式化に尽力しました。彼女は 4大陸で、クラス、セミナー、ワークショップを教えました。そして、ECOWAS（西アフリカ諸国経済共同体）と国際社会サービスから資金提供を受けている西アフリカの子どもの保護のための技術委員会を査定する経験豊富なオブザーバーでした。

オーガスタ氏は米国ジョージア州サバナ州立大学で、ナイジェリア、南アフリカの各国と米国との間の教育交流プログラムを、現在の 5年間の MOU（覚書）として立ち上げました。そして彼女は 2017 IASSW（2017 年国際ソーシャルワーク学校連盟）の国際教育プロジェクト助成金を授与されました。また、アフリカ医学編集者フォーラム（FAME）の査読者としてソーシャルワーク教育、児童福祉や家庭福祉のための先住民社会的ケアの分野で著作物を出版しています。

私のビジョン

ビジョンを創るということは、未来へ旅をして現在に戻り、それを計画するところだと言われます。IASSW（国際ソーシャルワークスクール協会）の何年もの業績の山に立つと、私にはソーシャルワーク教育の素晴らしさに明るい未来が見えます。

理事会の特別メンバーに選出されるにあたり、報告書を読み、理事会に出席することにより、私の IASSW についてのビジョンは声、視界、そして実行の可能性を高めました。声とは、注目されていない国や機関の声を聞くこと、視界とはグローバルアジェンダの中心的役割を果たすソーシャルワーク教育に目を向けること、そして実行の可能性とはソーシャルワーク教育プログラムと地域イニシアチブを開発するための可能性です。

私の目標は、注目されていない国やマイノリティーの機関の会員数の増加を目指し、それによって多様性と包括性に関する IASSW の取り組みを積極的に支援することです。現在、個人および機関会員のおよそ 3.6% および 5.7% はアフリカ大陸に居住していて、私の出身であるサハラ以南の地域の会員数はさらに少ないのです。私は理事会において、この注目されていないソーシャルワーク教育コミュニティに声を与えていくことを約束します。

私が、ソーシャルワーク教育、研究、奨学金の卓越性を世界の人々の安全保障のための重要な構成要素として活用する、という同協会の使命をサポートすることによって、人々の幸福を追求するための闘争に関わる職業の視界が広がるだろうと考えます。ソーシャルワーク教育と教育者は、国連持続可能な開発目標の達成に大きな影響を与えることができると確信しています。ソーシャルワークの視界を拡大するための私のビジョンは、グローバルアジェンダプロジェクトの進展を支援することによっても追求されます。そのプロジェクトとは「ソーシャルワークのメディア表現に関する比較展望の構築」でこれが最初のステップです。私はプロジェクトの適切な資金提供をサポートし、またサービス利用者と提供者の目的が合致することも達成できるようサポートします。

私が理事会の特別メンバーに選出される場合、私への投票は、ソーシャルワーク教育プログラムや地域イニシアチブの発展の可能性を支持するものになります。そのようなイニシアチブには、クロアチアにおける EASSW（欧州ソーシャルワーク協会）の新たな社会的包摂エラスムス・プロジェクトとソーシャルワーク教育、ベトナムにおける APASWE（アジア・パシフィック・ソーシャルワーク教育協会）のキャパシティ・ビルディングプログラム、NACASSW（北米およびカリブ地域ソーシャルワークスクール協会）のカリブ地域における会員増強の推進、ASSWA（アフリカ・ソーシャルワークスクール協会）のアフリカ地域における社会訓練教育者のための論理的ガイダンス、そして ALAEITS（ラテンアメリカ社会教育研究協会）の中南米におけるソーシャルワーク学者を集める活動などを含みます。

私の IASSW へのビジョンは、注目されていない声に耳を傾け、グローバルな分野でのソーシャルワーク教育に目を向け、ソーシャルワークプログラムと地域イニシアチブの発展の可能性をサポートすることです。